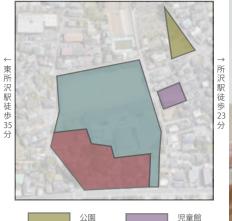
埼玉県所沢市上安松



〈特徴〉所沢市指定の保存樹木が3本ある

計画敷地







小学校



- ・外で遊ぶ子供が減少
- ・公園や児童館が衰退し、利用者が減少
- ・小道が多く交通の危険性があるため 学区外は行きにくい

保存樹木を活用した空間

自由に遊べる新たな子供の居場所をつくりたい



U注写 PIEICIE

一子供の新たな居場所となる公共空間を提案する 一

子供の居場所作りが街の活性化につながり、 街全体が多世代の交流の場になるのではない かと考える。

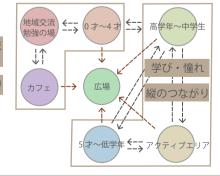
自然が多い埼玉県所沢市で子供が自然を通し て五感を刺激し、好奇心を育み、感動を知り、 豊かな感受性の発達を手助けする。

五十川綾子



親同士の交流 地域交流

横のつながり



土地の高低差を活かした広場を中心に配置

 \downarrow

広場の周りは年齢別でエリアを分けることで 一人一人がお互いを意識できるように配置

J

多様な交流が生まれ、互いの成長、 縦や横の緊密な繋がり形成を促す

□ポイント

- ・自然に合う暖かい木質の素材と形状で 柱が無く、広々とした明るい空間
- ・降ってくる雨や雪の景色を楽しめる空間を 個々の建物に設置することで室内で天候を リアルに感じることができる





〈内側〉